

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成22年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
治水と環境の調和した河川管理を支える礫床河川の土砂動態解析の技術研究開発(研究期間: H22年~H24年)	中央大学 内田 龍彦	B
<p>本研究では礫床河川において、治水と環境の調和した河道設計のために、洪水外力に対する河道断面形、河床材料、植生などの河道の物理環境の応答を明らかにするため、流れ(構造物周辺の三次元的な流れによる底面流速、局所洗掘)、土砂移動(礫床・石礫河道の土砂動態)、植生(樹木群を有する河道の土砂動態と樹木倒伏、樹林化機構)に着目した新しい解析技術を開発した。さらに、開発した解析技術を応用し、縦断的な河幅・河道線形を考慮した治水と環境の調和した河道断面の改修方法を提案した。</p>		
<p><事後評価コメント> 長期的な石礫河道の変動を予測する河床変動解析は、これまでほとんど例がなく、この課題に取り組み、新しいモデルを開発したことは高く評価でき、目的は概ね達成され、研究成果があったと言える。 今後は従来の平面解析と比較して、本研究で開発した解析手法によりどれだけ精度が向上したのかを明らかにするとともに、研究を活用して治水と環境の調和した河川管理技術の実用化に役立つことが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い